

平成27年第4回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明

おはようございます。

本日ここに平成二十七年第四回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には御出席いただきまして、まことにありがとうございます。

今年の秋は、多くの方に種子島をご覧いただく秋となりました。結構、慌ただしくいろいろな行事をこなしてきたように感じます。

一方、各地域では、昔ながらの願成就など引き継がれてきた伝統・文化をしっかりと守り伝えていく取り組みも行われたようです。

さて、世界を見わたしますと、10月にTPP交渉が大筋で合意に達し、11月には、アジア太平洋経済協力会議（APEC）が開催され首脳宣言が採択されています。

TPPに関しましては、政府は、11月25日に総合的なTPP関連政策大綱を決定いたしました。農業について、体質強化対策と重要5品目対策があげられています。

補正予算等今後の具体的な動きに注視していきたいと考えます。

昨日、11月30日には、パリで第21回国連気候変動枠組条約締結国会議（COP21）が開幕しました。

最近のテロへの脅威の高まりの中、世界を意識しながらも、持続

可能な地域社会の構築に向け、種子島に住み、足元を見つめながら何ができるのか考える時なのかもしれません。

それでは、議案説明に先立ちまして、地域の状況や事業の状況、市政を取り巻く課題について触れたいと思います。

まずは主な行事などを報告したいと思います。

この秋、国内最大級の文化の祭典、第30回国民文化祭が10月31日から11月15日まで鹿児島県で開催されました。10月31日の第30回国民文化祭かごしま開会式では、鹿児島市、奄美市、西之表市をライブ中継で結び、3会場一体となった式典を実施し、西之表市会場のオープニングフェスティバルでは種子島高校2年生全員によるダンスパフォーマンスや火縄銃試射を披露いたしました。また、開会式後には、熊毛一市三町の文化協会による第41回熊毛地区広域文化祭も開催され加盟団体による舞台発表で開会式に花を添えました。西之表市主催事業「華道の祭典イン種子島」では、10月31日から11月3日まで市民体育館を会場に鹿児島県連合華道家十七流派と島内華道団体による、いけばな260作品を展示、開催初日には、華道池坊次期家元 池坊由紀氏の特別講演や

いけばなのデモンストレーションが行われました。開催期間中には、いけばな体験も実施され、四日間で島内外から約5千人の方が来場され、いけばなの華やかさに魅了されているようでした。11月8日には、西之表市商工フェスタや安納いもスイーツサミットとの共同開催として「黒潮文化交流の祭典」が日泊みなと公園で開催されました。種子島に伝えられた火縄銃が全国へと広がった戦乱の世を描く「戦国鉄砲絵巻」が島内外の鉄砲隊や甲冑かっちゅうに身を包む市民多数の参加の元で繰り広げられました。同時に、アコースティックデュオマリオネットライブやお楽しみ抽選会なども行われ、終日子どもから大人まで楽しみました。また、同日には、市民体育館でもお手玉遊びの祭典が開催され、お手玉遊びの披露、実演、体験、講演も行われました。国民文化祭で学んだこれまでの歴史や文化を再度認識し、後世に残していきたいものだと考えます。

体育関係の行事も市民の皆様の多くの参加をいただきながら開催することができました。

10月11日には、市民体育祭、11月12日には、恒例の市内一周駅伝大会を開催することができました。11月29日には、中種子町で種子島相撲が開催されております。

来年は本市で開催されますが、50周年の年にあたるとのことですので、記念事業に期待をしたいと思います。

健康づくり、体力づくりはたいへん重要なことです。市民の皆様の健康増進のため、スポーツに親しむ環境を整えながら施策を推進してまいります。

観光面では、10月20日ににっぽん丸が寄港しました。本年度の大型客船の入港は一回だけの予定ですが、来年度は、飛鳥Ⅱが二回、にっぽん丸が二回入港することが予定されております。

今月25日には、種子島・屋久島観光連絡協議会の活動として、寄港回数を増やしていただくよう要請活動も実施し、船会社より、歓迎へのお礼とともに観光施策充実の要請も受けたところであります。

引き続き、寄港回数を増やしていただくよう要請活動を行っていきたいと考えております。

10月27日には、県主催の熊毛地域特産品コンクールの審査会が開かれ、本市からは17事業所から28作品の応募があり、食品部門、工芸部門、地域限定部門において、5事業所、6品が優秀賞に選ばれました。入賞された事業所の皆さまには商品の付加価値を

高め今後の商品販売の向上に繋げて頂きたいと思えます。

10月30日から11月8日にかけて、5回目となる「くろしおの芸術祭」が開催され、西之表港から商店街にかけて、廃材を利用した色とりどりのオブジェのほか、種子島をテーマにしたカラフルなアートベンチが20基作成され、まち並みに新たな魅力が加えられました。

また、11月1日には、昨年度に引き続き、島内の食品・工芸を集めた体験型のイベントである「種子島元気村」が、市役所保健センター前にて開催され多くの家族連れなどで賑わっておりました。

政策を推進する取り組みといたしまして、11月18日には、本市と鹿児島国際大学との包括連携協定を締結し、さらに鹿児島相互信用金庫を加えた三者による「西之表市地域活性化共同事業に関する覚書」を締結したところです。今後、商店街振興や外国人観光客受け入れ促進など地域課題の解決に繋げてまいりたいと考えています。

11月19日には、種子島・屋久島振興協議会の会長として、種子島・屋久島の首長、議長の皆様と国土交通省に要請活動に行っていました。西之表港の整備推進、種子島空港の地上設備整備、

航路航空路の運賃補助の問題について、要請を行うとともに、高速船の老朽化問題に対して、情報を得るとともに地元の実情を訴えてまいりました。

また、新しく大臣になりました森山代議士とも面会し、農林水産業の現状をお話ししてまいりました。今後も、国の動向に注視しながら各種課題の解決に努めてまいります。

地域に状況についても触れたいと思います。

今年には戦後70年の年であります。2度と戦争の悲劇を繰り返さないよう、これまでの、歴史を振り返ることが大切であると考えたことから疎開の歴史のある伊佐市との交流事業を推進してまいりました。その取り組みの中で種子島高校放送部の皆さんの作品が九州高校放送コンテスト・鹿児島県予選大会で最優秀賞を受賞し、今月九州大会に出場いたします。また、市役所では新規採用職員の相互交流も実施いたしました。非戦の誓いを新たにしながら、新しい世代の活躍に期待をしたいと思います。

また、来年は、堺市との友好都市交流が始まってから30年の年となるようです。^{えにし}縁ある地域との交流を大切にしながら、地域づくりに励みたいと思います。

次に、本市産業を支える農業の状況についてです。

農業においては、今秋から来春にかけて、本格的な収穫の時期を迎えるわけですが、基幹作物でありますさとうきびは、来月14日より、操業が開始され、明けて4月10日で操業終了となります。本市では744戸の生産者が693haを栽培しておりますが、本年は6～7月の低温と長雨・日照不足や台風15号の影響を受け、11月1日現在のブリックスは15.75であり、ほぼ平年なみを見込んでいるものの、反収で4,463kgと史上最低となり、2年連続で農家の皆さんにとっては大変厳しい年となりそうであります。

また、10月18日より操業が開始されました澱粉原料用さつまいもについても、本年は297ha栽培されておりますが、予想反収が53俵で前年同様減収となる見込みであり、安納いもを主とする青果用さつまいもについても、出荷途中ではありますが、平年を下回る予測がなされているところです。

市といたしましても、既存施策を充実させながらプロジェクト108を中心に、関係機関、生産者とともに早急な立て直しを図るため、さとうきびについては、さとうきび増産基金事業を活用しまして、新植のための種苗代助成等を行い、さらに次年度を見据えた面

積確保に努めたいと考えています。

また、最近の出来事として、奄美群島で発生したミカンコミバエが屋久島でも確認されております。種子島での発生も憂慮されることから、侵入警戒トラップの設置など対応に万全の態勢をとりたいと考えております。

次に各種事業の状況について報告をいたします。

現在、改修中の市民会館は、本年12月完成、来年1月3日の成人式からの使用を予定しております。これまでは、文化・生涯学習活動の中心施設ではありましたが、今回の改修により災害発生時にも対応できる防災拠点施設としての機能を併せ備え、市民の方々が安心してこれまで以上に利用しやすい施設に生まれ変わっております。来年1月11日には、市民会館リニューアルセレモニー（仮称）を計画して市民の皆様へのお披露目を予定しています。

西之表市汚泥再生処理センター整備事業の進捗状況については、外構工事、現施設焼却設備の撤去工事などを残しておりますが、施設の運転管理業務受託業者との契約も終わり、現在プラントによる試運転中であります。来年からは本格稼働の予定で、1月に竣工式

を行います。

新種子島産婦人科医院建設事業につきましても、現在、建築中ですが、来年の3月中旬には完成の予定です。

新たな周産期医療の拠点の誕生に期待したいと思います。

中央拠点施設整備事業につきましても、9月議会以降の報告をしたいと思います。

9月議会以降これまでに、校区長との語る会、榕城校区での語る会、西之表市商工会・西之表市商店街振興協同組合・種子島観光協会からの意見聴取等を行いました。

各方面の意見を尊重し、物品販売を行わないこととし、情報発信機能、地域交流機能、交通拠点機能、体験スペースなどを充実させることにより市街地への人の流れや、にぎわいを創出する施設として整備することとしたところであります。大字地区と中心市街地を結ぶ拠点にもしたいと考えます。

今回の補正予算に計上いたしておりますのでご審議のほどよろしくお願いいたします。

それでは、本定例議会に提案いたしました議案について御説明いたします。

本定例議会に提案いたしました議案は、西之表市人事関連議案 1 件、西之表市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなど条例改正議案 4 件、条例制定議案 1 件、鹿児島県市町村総合組合の事務の変更及び規約変更議案 1 件、西之表市一般会計補正予算（第 5 号）など予算関係議案 6 件の合計 13 件であります。

議案につきまして御説明いたします。

議案第 86 号は、固定資産評価審査委員会委員の選任について議会の同意を求めるものであります。

議案第 87 号は、西之表市民会館大規模改修工事に伴い、使用料の規定を変更するため、条例の一部を改正しようとするものです。議案 88 号と 89 号は税条例の改正議案、90 号は厚生労働省省令の交付に伴う条例改正、議案第 91 号は番号法の施行に伴う条例制定、議案第 92 号は、鹿児島県市町村総合事務組合の事務の一部変更、規約の変更に伴うものであります。

議案第 93 号から第 98 号は、平成 27 年度西之表市一般会計及

び特別会計並びに水道事業会計の補正予算であります。

議案第93号は、平成27年度西之表市一般会計補正予算(第5号)であります。歳入歳出予算の総額に三億四千七十六万五千円を追加し、予算総額を百十七億一千五百四十七万四千円とするものです。本予算の主なものについて御説明いたします。

まず、関係団体等の意見を総合的に判断し、物販機能を置かないこととした中央拠点施設整備事業二億九千百三十三万五千円を計上いたしております。

次に地方創生に関連しまして、国の定額交付金の交付決定がなされたことから、歳入総額四千五十八万七千円の3事業を計上いたしております。

そのうち高等教育機関活用可能性調査事業では、公立大学の設置まで含んだ調査を実施いたします。

また、昨年に引き続き、さとうきび栽培について、厳しい状況が想定されることから次年産を見据えた対策として、さとうきび新植助成補助金一千六百九十八万八千円を計上いたしております。有害鳥獣対策といたしましても、特定財源の減少をカバーしてでも、対策を推進すべく、報償費八百四十八万三千円を追加いたしました。

議員各位の御審議をお願い申し上げまして、所信表明及び提案理由
の説明といたします。

ありがとうございました。

平成27年12月1日

西之表市長 長野 力

